

平成30年度 第1回瑞浪市化石博物館協議会議事録

日 時 平成30年6月13日(水)
13時00分～15時00分
会 場 瑞浪市化石博物館
レクチャールーム
出席者 <協議会委員>
大路樹生・松岡敬二・西尾京子
中山京三・今井敬博

<事務局>
工藤嘉高・安藤佑介

1. 委嘱状交付

館長から各委員に委嘱状を交付した。各委員が挨拶を行った。

2. あいさつ

館長から委員に挨拶を行った。

3. 協議会会長選出

互選により今井委員が会長に選出された。

3. 報告事項

平成29年度事業報告について

企画展、講座等29年度に実施した各種事業の結果(参加者等)を報告した。

・出張講座について

委 員：地元の小中学校との連携講座開催数が少ない。地元への還元を増やすべきである。化石の単元なら博物館で対応できるのもっとPRすべき。

事務局：今後は校長会や教頭会だけでなく、各学校に出向いてどういった出張授業ができるのか、きめ細やかな説明をしていきたい。

・調査研究事業について

委 員：地方都市の博物館としては研究も活発であり、積極的に公表もしている点は評価できる。

事務局：今後も博物館の業務の一つである調査研究を進めていきたい。

4. 協議事項

平成30年度事業計画について

- ・企画展の開催について：化石博物館収蔵のホロタイプ、パラタイプを公開する。
委員：展示をするだけでなく、化石の発見者のトークイベントなどイベントと絡めた展示会を行った方がよいと思われる。
事務局：第1回目の展示会ではギャラリートークを行った。今後も企画していきたい。
委員：自由研究の作品展など学校と連携した企画展を開催してみてもどうか。
事務局：すでにサイエンスワールドで実施している。別の方法で考える。

- ・講座等の開催：本年度開催する教室の概要を説明した。
委員：学校との連携を進めるためにも、教員用のイベントを企画してほしい。収蔵庫の見学など、博物館を学校が活用できるような方法を提案した方がよい。
事務局：今後の課題とし、学校への働きかけを行っていきたい。まずは明世小学校と連携して実績を作りたい。

- ・展示備品の制作（ヒゲクジラ復元画）：7月4日から常設展示室で公開する。
委員：イラストは、大変良いものに仕上がりにそうなので、展示だけでなくパズルやクリアファイル等ミュージアムグッズとしても今後活用してはどうか。
事務局：来年以降検討していきたい。

- ・展示コーナーについて：7月3日に一部改装し、北中学校工事現場産ヒゲクジラ化石や復元画などを展示する。
委員：改装にあわせて図書スペースももう少し広げたほうがよい。また、現状では床と同じ高さであるため、図書コーナー周辺だけジョイントマット等を使い一段高くするとキッズコーナーのようになり子供たちが容易に利用しやすいと思う。
事務局：検討する。かさ上げが可能であれば今年度対応する。

- ・その他、公共施設等総合管理計画について
委員：4つの施設の統合には相当な予算が必要だと思われる。基金などを設立し、対応できないか。
事務局：現状では設立予定はないが、今後検討していきたい。

- ・次回協議会について：10月中旬に開催し、来年度の事業を協議することとした。

まとめ

協議会での議論から下記の点を実施する。

- ①市内小中学校への出前講座等の紹介をより積極的に行う。校長会で告知するだけでなく、画像等を用いたわかりやすいチラシを作り、各学校に配布する。
- ②教員用のイベントについては、理科部会に働きかけを行う。
- ③図書コーナーについては、かさ上げ用のマットを導入し、利用を促進したい。